

私たちは、良質で安全で心温まる医療を提供し、地域の皆様に信頼される病院づくりに努めます。



光市立光総合病院

第50号

2017年 1月 発行

病院だより

基本方針

1. 患者さん中心の満足度の高い医療
2. 医療水準の向上
3. 地域医療の確保と地域医療連携の充実
4. 救急医療、災害医療の充実
5. 安定した経営基盤の確立

光市立光総合病院の職員は、
患者さんの権利を尊重いたします。

1. 患者さんの人権を守り権利を尊重します
2. 知る権利を保障します
3. 診療の選択を保障します
4. 診療に患者さんの参加を期待しております
5. 患者さんのプライバシーを守ります

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては本年をお健やかに迎えのことと存じます。また、昨年中当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

昨年申年は世界的に人々の予想を大きく裏切る結果や重大な事件が次々と起こり、世界の未来が、これから大きく変動するのではないかと予感させる年でした。

また熊本、鳥取で震災が発生し、また東北地方の余震による津波の発生もあり、大規模災害に強い病院作りを目指す意義を強く感じた年でした。当院では一昨年より大規模災害に備える病院のシステム作りや、災害発生時における救助派遣などに取り組んでまいりました。また、職員が緊急時に即座に対応できるようにするための大規模な訓練も行い、昨年は実際に当院のDMAT（災害医療派遣チーム）を熊本に派遣しました。新病院建設では災害に即時に対応できるような病院としての基本設計を作成いたしました。今年も、より発展した大規模災害に備える病院のシステム作りや、器材の充実を図ってまいります。

昨年11月は日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審いたしました。病院機能評価は第一世代第二世代と進み、今回は第三世代と進化し、3rdG：Ver.1.0となりました。前回受審と比べ評価項目や評価法が大幅に変わっていましたが、職員一同が各分野を越えて協力・補完し合い、良い評価をいただけたものと確信しております。日本医療機能評価機構による評価は、病院を評価する物指しの一つにすぎませんが、この評価項目の中には私たちの病院の理念に一致するものが多いと考えております。この評価項目の改善を目指して今年も職員一同、より良い病院として評価されるためには何が必要であるかを常に検討し、改善を続けてまいります。

今年も変わらず当病院の理念である「良質」、「安全」、「心温まる」医療を提供していける病院作りを目指して医療の質の向上や医療連携を推進し努力してまいります。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



光市立光総合病院
院長 桑田 憲幸

こんにちは。リハビリテーション科です。

リハビリテーション科は、平成26年度に当院に地域包括ケア病棟が開設されたことを受け、今年度大幅に療法士が増員されました。現在理学療法士9名、作業療法士3名、補助者2名体制で、入院や外来の患者さんのリハビリテーションにあたっています。

リハビリテーションとは、決して機能訓練ではありません。本来は患者さんが日常生活を取り戻すための取り組みすべてを指します。わたしたちは、医師の指示の下で怪我や病気の治療にあたるだけでなく、患者さんが地域で生活するにあたっての様々な課題に向き合う援助を行っています。そのために、時にはご家族に患者さんのリハビリの様子を見ていただき、生活の場に戻るために何が必要なのかを検討するお手伝いをします。また、患者さんにご自宅にお伺いして実際にご自宅の中を移動していただき、動作指導や必要な介護機器、改修のご提案を致します。

患者さんの内訳は、整形外科75%、内科14%、外科7%、泌尿器科4%（平成27年度）で比率としては整形外科の患者さんが多いのですが、患者さんの高齢化に伴い、怪我で入院される患者さんが内科、外科その他の病気を複数持っておられるということも珍しくはありません。そうした患者さんが安心して退院し、生活の場に戻れるための支援を、他の部署と連携しつつ行っています。

8割が入院の患者さんですが、外来の患者さんもいらっしゃいます。入院の患者さんは地域で生活していけることがゴールですが、治療は継続しながら自宅で生活される場合は外来通院という形でリハビリを実施します。この場合定期的な医師の診察が必要になりますので、ご理解とご協力をお願いします。

わたしたちは、患者さんが日常を取り戻すためによりよい支援ができるよう、これからも努力してまいります。



リハビリテーション科
運動療法室



ミーティングの様子

「健康出前講座」のご案内

光市立光総合病院では、健康や医療に関する意識を高めるとともに、当院の診療内容等を知っていただくため、市内の自治会や老人クラブ、企業、学校、各種団体等の研修会や会合（10名以上）に出向いてお話をさせていただきます。

なお、健康出前講座の費用は無料ですが、会場につきましては依頼者・団体にて準備していただくようになります。また、日程等の都合の為2～3ヵ月前にお申し出ください。

健康出前講座メニュー

	講座名	内 容	担 当
1	ファーストエイドその場でできる応急処置	家庭や職場での急変やけがの時、どのように対応し、救急外来を受診すべきかどう判断すればよいか	医局
2	『がん』の話	広く悪性腫瘍（がん）全般に関する総論的解説	
3	『がん』の早期発見について	治療できる段階での早期発見のコツについて	
4	『消化器がん』の治療	消化器癌の治療方針、特に外科的治療に関して	
5	『乳癌』	乳癌に関する話題	
6	『緩和ケア』の話	緩和ケアに関する最近の話題と当院での取り組み	
7	『肝炎』について	B型肝炎・C型肝炎について	
8	『逆流性食道炎』	逆流性食道炎に関する話題	
9	前立腺癌の話	前立腺癌とは・その予防法や検診について	
10	看護師の仕事内容	中・高生を対象に看護師の仕事内容について	看護部
11	血圧測定と健康相談	血圧測定と健康相談	
12	感染症対策について	感染症と予防法について	
13	体位変換とポジショニング	褥瘡予防、腰を痛めないためには…	
14	生活習慣病	メタボリックシンドロームの予防について	
15	熱中症の予防・対処法	熱中症予防・対処法について	
16	ロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドロームの予防について	リハビリテーション科
17	腰痛予防について	腰痛や予防法について	
18	膝の痛みを気をつけよう	膝の痛み予防について	
19	肩の痛みを気をつけよう	肩の痛み予防について	栄養科
20	治療食について	疾患ごとの治療食について	

※担当部署により開催可能な日時が異なりますので、お気軽にお問合せください。

申し込み・お問い合わせ TEL 0833-72-1000 光市立光総合病院 地域医療連携室



外来診療のご案内

平成29年1月



初診の受付は8:15から開始いたします。

再来機の受付時間は午前7:30～11:30、診察開始は特に表示のある科を除き8:30からとなっております。

診療科		月	火	水	木	金
内科	消化器	岩本	谷川	岩本	谷川	谷川
	内分泌	松田	松田	松田		松田
	循環器	福田	中村・福田 交替制	中村 福田	吉村	中村 福田
禁煙外来の受付は火曜日・木曜日、10:30まで						
外科	一診	折田	平田（健）	折田	平田（健）	折田
	二診	平田（健）	春木	春木	春木	春木
小児科			伊藤		堀田	
整形外科	一診	桑田	交替制（初診）	山縣	桑田	平田（健司）
	二診	平田（健司）		加藤	加藤	山縣
眼科		生田	生田	生田	生田	生田
泌尿器科		森	井本	交替制	井上	井本
麻酔科		竹中			竹中	
婦人科			前川		末岡	
診察開始9:00						
神経科				關		
耳鼻咽喉科		平田 （加寿子）				平田 （加寿子）
セカンドオピニオン外来			守田	完全予約制/毎月1・3週の火曜日 対象者はがん治療患者様およびご家族の方		
以下の診療科は午後のみの診察で、再来機の受付時間は12:30～15:30、13:00診察開始となります。						
脳神経外科					岡・森	
					予約制/毎月2・4週の木曜日	
皮膚科			竹本	毎月1・3・5週の火曜日		

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

年末年始は、如何お過ごしになりましたでしょうか。実家へ帰省し、ゆっくりと過ごされた方も多いと思います。私もそんな一人です。

風邪が流行する季節になりました。手洗い・うがいをしっかりして、寒い冬を乗り切りましょう。



光市立光総合病院

〒743-0022

山口県光市虹ヶ浜二丁目10-1

TEL 0833-72-1000（代）

FAX 0833-72-6018（代）

71-2828

（医事係専用）

光市立光総合病院ホームページ

<http://hikari-hosp.jp/>